

ブランド戦略推進調査特別委員会 活動報告（骨子案）

【目次】

1	付託調査事件	P
2	建議理由	P
3	活動方針	P
4	重点調査項目	P
5	スケジュール	P
6	調査経過	P
7	提言	P
8	委員構成	P

1 付託調査事件

令和5年第1回臨時会で特別委員会の設置を建議した際の付託調査事件を記載する。

ブランド戦略の推進に関する調査

2 建議理由

令和5年第1回臨時会で特別委員会の設置を建議した際の建議理由を記載する。

新型コロナウイルスの感染拡大は、区民生活に多大な影響を与えた。社会的距離を置く「新しい生活様式」により、区主催イベントや地域行事は、中止・縮小が相次ぐなど、区内外の人々の交流機会は減少し、交流人口も大きく落ち込んだ。加えて、感染症による意識・行動変容は、長期間にわたり対面による社会活動を抑制し、消費行動の変化や住民同士のつながりの希薄化など、まちのにぎわいに甚大な影響を及ぼし、地域経済やまちの活力の低下を招いた。

こうした社会環境の変化に対応し、再び地域の経済・社会を活性化させるためには、区民や来訪者から選ばれるまちとしての魅力やブランド価値を高め、発信力を向上することで、区外から多くの人を呼び込み、交流人口を増加させる必要がある。こうした取組の推進により、板橋区の知名度が向上し、定住化につながることを期待できる。

区は、「いたばしNo.1 実現プラン2025」において、「ブランド戦略」を重点戦略の一つとして位置づけ、区の独自性や先駆性を前面に打ち出しながら、地域や大学・企業との連携等によって、ポストコロナ時代における新しい板橋ブランドの構築を推進している。効果的な情報発信には、魅力的なまちの実現を目指すシティプロモーションの考えを取り入れた広報活動が不可欠である。そのためには、区公式ホームページをはじめ、区から情報を積極的に発信し、区の魅力やブランドを広く浸透させることが重要である。加えて、区公式アプリやSNS等をさらに活用し、対象・年代・発信分野などの特性に合わせた複合的な発信が求められる。

また、板橋ブランドの構築に向けては、「絵本のまち」の推進とともに、「文化・観光・産業」分野での取組も不可欠である。地域の歴史や文化、ものづくり企業の産業集積などの地域特性を生かし、組織横断的な施策を展開するなど、統一的なイメージを効果的に訴求する必要がある。併せて、板橋4大イベントや板橋のいっぴんなどの板橋ならではの地域資源ブランドのさらなる魅力向上には、区・区民・事業者等の多様な主体において、共感の輪が広がるよう一体となって展開することが重要である。

議会としては、ブランド力を高める戦略的な区の魅力発信により、区民の区に対する誇りや愛着を醸成するとともに、多くの来訪者が訪れ、交流人口が増加し、ひいては定住化につながるような魅力あふれるまちの実現に向けて調査を行う必要がある。

令和5年5月25日建議

3 活動方針

令和5年第2回定例会で決定した本委員会の活動方針を記載する。

ブランド力を高める戦略的な区の魅力発信により、区民の区に対する誇りや愛着を醸成するとともに、多くの来訪者が訪れ、交流人口が増加し、ひいては定住化につながるような魅力あふれるまちの実現について調査・提言を行う。

4 重点調査項目

令和5年第2回定例会で決定した重点調査項目を記載する。

- 1 シティプロモーションの推進について
- 2 地域資源ブランドの確立・発信について

5 スケジュール

決定した活動方針・重点調査項目をもとに、令和5年第3回定例会の特別委員会において2年間の調査スケジュールを以下のとおり決定した。

なお、令和6年第3回定例会で実施を検討していた視察については、候補地の議事日程の都合により実施しなかった。

		令和5年度 (2023 年度)			令和6年度 (2024 年度)			
		3定	4定	1定	2定※ ¹	3定	4定	1定
重点調査項目	1 シティプロモーションの推進について					○多様な主体による シティプロモーションの展開について (視察も検討) ※ ²	○広報ツールを活用 した効果的な情報 発信について	
	2 地域資源ブランドの確立・発信について	○地域特性を踏まえた ブランドのあり方について	○絵本のまち板橋の 推進に向けた取組について	○板橋4大イベント の魅力向上に向けた取組について	○地域特性を踏まえた ブランドの確立・ 発信について			
報告事項		○関 連 す る 報 告 事 項 が あ っ た 場 合 は 、 適 宜、 報 告 を 受 け る。						
提言の検討		○議題に対する意見 ○前回意見の確認						
		検討サイクル	検討サイクル			検討サイクル	検討サイクル	
						検討サイクル	○新 た な 提 言 の 検討	○2年間の検討を 踏まえた最終調 整を行う。
活動報告						○活動報告骨子 (案)の確認	○活動報告(案)の 確認	活動報告完成

※1 特別委員会の調査経過や執行機関側の事業の進捗状況を踏まえ、調査内容及び調査スケジュールの時点修正を行う。

※2 視察については、閉会中に行くことも考慮し、調整する。

6 調査経過

開催年月日	調査事項等
令和5年 5月25日(木)	議 題 ・正副委員長等の互選について
6月19日(月)	議 題 ・シティプロモーション及びブランド戦略の現状について
9月29日(金)	議 題 ・地域特性を踏まえたブランドのあり方について
12月8日(金)	議 題 ・絵本のまち板橋の推進に向けた取組について
令和6年 2月21日(水)	議 題 ・板橋4大イベントの魅力向上に向けた取組について
5月24日(金)	議 題 ・正副委員長等の互選について
6月18日(火)	議 題 ・地域特性を踏まえたブランドの確立・発信について
6月24日(金)	議 題 ・委員長の互選について
10月2日(水)	議 題 ・多様な主体によるシティプロモーションの展開について ・活動報告(骨子案)について
12月9日(月) (想定案)	議 題 ・広報ツールを活用した効果的な情報発信について ・活動報告(素案)について
令和7年 2月20日(木) (想定案)	議 題 ・活動報告(案)について ・委員会の終了について

7 提言

特別委員会として決定した重点調査項目における提言は以下のとおりである。

重点調査項目 1 シティプロモーションの推進について

背景・課題

I ○○○○について

【○○○○○○】

● ○○○○○○○○○○○○○

● ○○○○○○○○○○○○○

委員意見概要等から委員会として合意し、提言する内容を箇条書きで記載する。

II ○○○○について

【○○○○○○】

● ○○○○○○○○○○○○○

● ○○○○○○○○○○○○○

重点調査項目２ 地域資源ブランドの確立・発信について

背景・課題

I ○○○○について

【○○○○○○】

● ○○○○○○○○○○○○

● ○○○○○○○○○○○○

委員意見概要等から委員会として合意し、提言する内容を箇条書きで記載する。

II ○○○○について

【○○○○○○】

● ○○○○○○○○○○○○

● ○○○○○○○○○○○○

8 委員構成

	＜令和5年度＞	＜令和6年度＞
委員長	間中りんぺい	竹内愛 荒川なお(※1)
副委員長	寺田ひろし	川口雅敏
理事委員	竹内愛 川口雅敏 おなだか勝	荒川なお 小柳しげる(※2) いしだ圭一郎 おなだか勝
委員	近藤タカヒロ 坂田れい子 横川たかゆき 大野ゆか 岩永きりん いしだ圭一郎 しば佳代子	近藤タカヒロ 坂田れい子 横川たかゆき 大野ゆか 間中りんぺい 寺田ひろし しば佳代子

※1 令和6年6月24日付けで「竹内 愛 委員長」が辞任。
同日付けで「荒川 なお 理事委員」が委員長に就任。

※2 令和6年6月24日付けで「小柳 しげる 委員」が理事委員に就任。